



せたがや区議会だより

No.239

平成25年(2013年)4月27日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030
http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html

平成25年度予算を可決 第1回例会



せたがやジュニアオーケストラ有志による区役所ロビーでのコンサート

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会では、区長から25年度予算案5件を含む40件、議員から1件の案件が提出され、全て可決しました。

●25年度各会計予算 5件

○一般会計

賛成 自民新公明生社民主 減税
賛成多数 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産 移行 緑の党

○国民健康保険事業会計

賛成 自民新公明生社民主 移行 緑の党
賛成多数 減税 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産

○後期高齢者医療会計

賛成 自民新公明生社民主 移行 緑の党
賛成多数 減税 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産

○介護保険事業会計

賛成 自民新公明生社民主 移行 緑の党
賛成多数 減税 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産

○中学校給食費会計 (全員賛成)

関連記事は67ページに掲載
●24年度各会計補正予算 4件

○一般会計 (第六次)

賛成 自民新公明生社民主 移行 緑の党
賛成多数 減税 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産 緑の党

○国民健康保険事業会計 (第二次)

賛成 自民新公明生社民主 移行 緑の党
賛成多数 減税 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産

○後期高齢者医療会計 (第一次)

賛成 自民新公明生社民主 移行 緑の党
賛成多数 減税 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産

○介護保険事業会計 (第一次)

賛成 自民新公明生社民主 移行 緑の党
賛成多数 減税 虹世田谷 あたら みん 無所属
反対 共産

―補正後の予算額は次のとおり。

- 一般会計 二四七九億三四七二万九千円
- 国保会計 八〇八億五三二〇万五千円
- 後期高齢者 一八一億二六七九万四千円
- 介護会計 五〇七億四三六一万二千円

●条例の新設 7件

○指定地域密着型サービス事業の人員基準等条例 (全員賛成)

○指定地域密着型介護予防サービス事業の人員基準等条例 (全員賛成)

―以上2件は、介護保険法の改正に伴い、事業者と施設の指定基準などを規定。

○新型インフルエンザ等対策本部条例 (全員賛成)

○新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、対策本部に係る事項を規定。

○移動等の円滑化に係る特定公園施設の利用基準等条例 (全員賛成)

○移動等の円滑化に係る特定道路構造の基準条例 (全員賛成)

―以上2件は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、特定公園施設や特定道路の構造に関する基準などを規定。

○道路構造の技術的基準条例 (全員賛成)

道路法の改正に伴い、区が道路を新設または改築する場合の技術的基準を規定。

会派名等

自民新 自由民主党世田谷区議団・新風

公明 公明党世田谷区議団

生ネ社 生活者ネットワーク

社会民主党世田谷区議団

共産 日本共産党世田谷区議団

民主 世田谷民主党

み 行 緑の党 緑の党 Greens Japan 世田谷

減税 虹世田谷

虹 虹世田谷

世田谷 世田谷無所属

あたら 未来あたら世田谷

みん 未来あたら世田谷

無所属 無所属

8ページへ続く

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

代 表 質 問

2月20日及び21日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団・新風 下山 芳男議員

教育に対する区長の姿勢

質問 区長は招集挨拶で教育について言及しなかった。かつての区長の著書に学校教育の否定ともとれる記述があるが、現在の世田谷の教育に対する考えを示せ。

区長 地域とともにある学校を基本に、9年教育を尊重していく。地域に根差した教育の推進

質問 社会の規範を理解し日本を支える人材を育てるには、家庭と地域、学校が責任を持って真剣に教育に取り組むことが重要だ。地域に根差した教育を一層推進せよ。

教育長 教職員と保護者、地域が一体となり義務教育の充実を図る。

都市基盤整備に対する区長の姿勢

質問 小田急線や京王線の連続立体化とそれに伴う沿線まちづくりや二子玉川再開発、外環道整備は災害対策としても重要だ。大型基盤整備への区長の姿勢を示せ。

区長 防災や減災の観点から計画に基づいて進めていく必要がある。

新たな基本構想の策定方針

質問 20年先を見据えた新たな基本構想に空虚な装飾の言葉はいらない。将来展望をしっかりと盛り込み、ふるさと世田谷への誇りや愛着を持てる基本構想を策定せよ。

区長 世田谷の魅力を次世代に引き継ぐことは重要なテーマである。

町会加入促進に向けた条例の制定

質問 我が会派は地域コミュニティの活性化に向け、町会や自治会への加入を促進するための条例の制定を再三訴えてきた。条例制定に向けた区の姿勢を改めて示せ。

生活文化部長 条例制定を含め加入促進の支援のあり方を模索する。

首都直下地震に備えた庁舎の改築

質問 先の震災を踏まえると、住民の生命と財産を守るには災害に強い庁舎が必要であることが明らかだ。財政状況が厳しい中でも、本庁舎の改築に計画的に取り組み。

公明党世田谷区議団 諸星 養一議員

区施設の効率的な整備

質問 区施設を国公有地の活用や施設の複合化などにより効率的に整備すべきだ。区民会館を総合的な複合施設として再配置するなどにより、本庁舎の改築を実現せよ。

政策経営部長 本庁舎問題を含め、国公有地の活用策を鋭意検討する。

木造住宅密集地域の不燃化の促進

質問 大震災に備えた都市基盤整備を一層推進すべきだ。木造住宅密集地域を多く抱える区は、都の新たな不燃化特区制度を活用するなど、建物の不燃化に力を注げ。

都市整備部長 都や関係部署と連携し申請地区の選定などを進める。

団地建てかえに伴うまちづくり

質問 区内の大規模団地の建てかえが予定されている。これを機に、都などと連携して道路や公園、福祉や防災の施設を整備するなど、総合的なまちづくりを進めよ。

都市整備部長 都などの連携を図り総合的なまちづくりを進める。

民間活力による認可保育園の整備

質問 区は事業者提案型の民有地などを活用した認可園整備に取り組んでいる。事業者の範囲や定員数などの応募条件の緩和により、民間活力の一層の導入を図れ。

子ども部長 応募状況によっては、公募条件の緩和も視野に入れる。

在宅子育て支援の充実

質問 在宅子育て支援は待機児童解消に向けた保育施設の整備と同様に、子育て施策の重要な柱だ。悩みを抱えがちな在宅子育て家庭を地域全体で支える施策を充実せよ。

子ども部長 孤立しがちな保護者へのきめ細かな支援を充実する。

高齢者見守り施策の推進

質問 高齢者をめぐる課題は認知症や虐待、振り込め詐欺など多岐にわたるため、きめ細やかな支援が必要だ。地区での高齢者見守りは行政の縦割りを排して進めよ。

副区長 高齢者見守り推進委員会を開催し領域間の連携強化を図る。

生活者ネットワーク・ 社会民主党世田谷区議団 桜井 純子議員

インフラの総点検の早急な実施

質問 東日本大震災以降、道路や橋梁などの内部劣化が一層進んでいると聞く。内部を迅速かつ正確に調査できる中レーダーを活用し、早急にインフラを総点検せよ。

土木事業部長 最新技術を研究しながら効率的な維持管理を行う。

区立校の非構造部材の耐震化

質問 区施設における天井材などの建物の主体構造以外の部材の耐震化は喫緊の課題だ。特に災害時に避難所となる区立校の体育館などの耐震化に早急に取り組み。

教育環境部長 耐震化に向け、引き続き速やかな対応に努める。

通学路の安全対策の強化

質問 区は通学路の安全対策を進めているが、砧の通学路などは抜本的な対策が講じられておらず、いまだに危険な状況だ。危険な通学路への安全対策を徹底せよ。

教育次長 安全性向上に向け道路整備部門などと連携して取り組む。

世田谷子育て応援宣言の表明

質問 子どもが健やかに育つ環境を保護者と地域、行政が協働してつくることは重要な課題だ。子どもを見守り育てる機運を高めるため、子育て応援宣言を表明せよ。

副区長 基本構想審議会での議論などを踏まえ、検討する。

国の新たな子育て支援策への対応

質問 国は子ども・子育て新システムによる子育て支援策を展開予定だ。区の保育室や保育ママの制度を現状の形態のまま新システムの給付対象とするよう国に求めよ。

子ども部長 区の裁量を最大限認めるよう機会を捉えて国に求める。

がん対策推進条例の制定

質問 がんは区民の死因のトップであり、がん対策は喫緊の課題だ。検診の充実と療養支援、がんの知識の普及啓発を強力に推進するため、がん対策推進条例を制定せよ。

生活者ネットワーク・ 社会民主党世田谷区議団 桜井 純子議員

25年度予算の編成方針

質問 景気回復には雇用の安定と賃金の引き上げにつながる地域経済の活性化が必要であり、区は優先的に取り組むべきだ。25年度予算編成に対する区長の考えを示せ。

区長 地域経済の活性化に寄与する事業などを実施していく。

LGBT成人式の支援

質問 性的マイノリティーがおり若者がふえており対策が急務だ。新設の若者支援担当課では、働けない若者への支援だけでなく、ひきこもりの予防にも取り組め。

子ども部長 若者の自立を目指し、社会参加の促進などに取り組む。

区内事業者活用環境の整備

質問 我が区が求めてきた環境負荷低減につながる環境リノベ事業を区が行うことを評価する。事業推進の際には区内事業者を活用せよ。

都市整備部長 この制度は区内事業者による工事を対象としている。

生活者ネットワーク・ 社会民主党世田谷区議団 桜井 純子議員

生活保護基準の引き下げの影響

質問 生活保護基準は最低賃金などに連動しており、安倍内閣が基準を引き下げれば国民生活に深刻な影響が出る。区長の見解を示せ。

区長 基準の見直しの影響が施策に安易に連動しないよう見定める。

区独自のデフレ不況対策の実施

質問 デフレ不況に苦しむ中小企業への支援を充実すべきだ。区施設の改修工事の発注や区内企業を活用した住宅耐震化の促進など、仕事起こしにつながる対策を行え。

区長 区民生活への支援や区内経済の循環に向けた対策を逐次行う。

国の緊急経済対策の積極的な活用

質問 国の緊急経済対策を積極的に活用すべきだ。区民の暮らしを守り、中小企業の仕事起こしにつながる経済対策を、補正予算を組むなどして早急に進めよ。

政策経営部長 当初予算を基本に、経済対策の活用などに対応する。

ゼロ金利融資制度の復活

質問 区はゼロ金利融資を廃止して新たな融資制度に転換したが、件数は激減した。中小企業の経営を支えるゼロ金利融資を復活せよ。

産業政策部長 区の融資あつせん制度を随時見直し、改善に努める。

保育園整備の一層の迅速化

質問 区が25年度に130人分の保育施設の定員増を図ることは評価するが、区の保育園整備率は23区中最低水準だ。保育園の増設に一層スピード感を持って取り組め。

子ども部長 多様な手法により、保育施設整備に全力で取り組む。

特養ホームの一層の整備

質問 特養ホーム待機者がふえる中、区は25年度に1カ所整備するのみで、介護に苦しむ世帯の要望にこたえていない。特養ホームの増設に全力を挙げて取り組め。

区長 創意工夫を重ね、関連計画に沿って進めていく。

生活者ネットワーク・ 社会民主党世田谷区議団 桜井 純子議員

複合施設がオープンしました(池尻2-3-11)

右は施設内の健康増進・交流施設「せたがや がやがや館」



副区長 がん対策検討委員会などの意見も踏まえて議論していく。

梅ヶ丘病院跡地への拠点整備

質問 梅ヶ丘病院跡地に整備予定の保健医療福祉の拠点は区の福祉の底上げと質の充実と寄与するものとすべきだ。整備が本格化する今、改めて拠点が担う役割を示せ。

副区長 区の保健医療福祉を支える全区的な拠点の機能を担う。

働けない若者への支援の強化

質問 ひきこもりなどで働けない若者がふえており対策が急務だ。新設の若者支援担当課では、働けない若者への支援だけでなく、ひきこもりの予防にも取り組め。

子ども部長 若者の自立を目指し、社会参加の促進などに取り組む。

区内事業者活用環境の整備

質問 我が区が求めてきた環境負荷低減につながる環境リノベ事業を区が行うことを評価する。事業推進の際には区内事業者を活用せよ。

都市整備部長 この制度は区内事業者による工事を対象としている。

複合的な課題を抱える世帯の支援

質問 子育てと介護を同時に担う中で仕事も行う必要があるなど、複合的な課題に直面している世帯が多い。多様化する家族形態に合わせて支援体制を強化せよ。

副区長 支援のあり方の検討を進め総合的な支援環境の整備を図る。

排除のない共生社会の実現

質問 誰もが安心して暮らすまちづくりを推進すべきだ。新設予定の都市デザイン課では、排除のない共生社会を都市デザインとして描け。

副区長 ユニバーサルデザイン条例などによるまちづくりを進める。

区民参加での環境施策の推進

質問 環境への意識が高い区民が多い区の特徴を生かすべきだ。区施設の屋根貸しによる発電事業は区民が参加しやすい仕組みとせよ。

環境対策室長 課題を踏まえ、区民が参加できる仕組みを検討する。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>

議会中継 をクリック！

世田谷民主党

中塚 さちよ議員

福祉施策のさらなる充実

質問 新政権は公共事業に係る補助金を大幅にふやす方針だ。区は補助金を使えるからといってむやみに公共事業をふやすのではなく、今後も福祉の充実に力を注げ。

区長 25年度予算案で福祉分野の充実に向けても財源を配分した。災害時要援護者支援の担い手確保

質問 町会の加入率低下により、地域主体での災害時要援護者の支援が難しい地域がある。区は、担い手の確保を初めとした地域防災力の向上に一層力を注げ。

副支所長 担い手の拡充を初め、支え合つ力の向上に向け支援する。

高齢者の見守り事業の全区展開

質問 区は地区高齢者見守りネットワークを27年度までに全27地区に拡充する方針だ。担い手不足の中で実現できる見込みがあるのか。

地域福祉部長 地区のさまざまな活動団体に参加を働きかける。

待機児数に見合った保育施設整備

質問 区の希望的観測に反し、保育待機児数が大幅にふえる見込みだ。マンシヨンの増加などの状況を十分把握し、保育需要に見合った保育施設の整備に全力を挙げよ。

子ども部長 まずは目標量達成を最優先に引き続き主力で整備する。

老朽化した空き家への対策

質問 老朽化した空き家は倒壊や放火の危険性が高い。解体などの強制的な措置を条例に盛り込むなど、一歩踏み込んだ対策を行え。

都市整備部長 他都市の例も参考に安全安心なまちづくりを進める。

学校給食のアレルギー対応の徹底

質問 調布市の小学校で、給食の提供を誤りアレルギーで児童が死亡する事故が起きた。担任が子どものアレルギー症状や食材を詳細に把握する仕組みを強化せよ。

教育次長 学校職員に対し、確実な対応を今後も指導徹底していく。

みんなの党・世田谷行革110番

大庭 正明議員

グローバル化を意識した基本構想

質問 成長著しい新興国の台頭など、「世界経済の大変化」を踏まえずに区の将来は語れない。基本構想は、こうしたグローバル化の視点をしっかりと捉えて策定せよ。

区長 グローバル化が進むことで、地域を尊重した基本構想をつくる。本庁舎改築に対する区長の見解

質問 区の将来を考える際、本庁舎機能のあり方は極めて重要な問題となる。前区長が改築の方向で検討すると示したとおり、保坂区長も同じ考えとの認識でよいか。

区長 具体的な時期を見誤ることなく、整備検討の再開に着手する。

基本構想の議決を急ぐ理由

質問 区は基本構想の議決時期を9月としたが、庁舎問題など、議論不足を指摘する不満の声が噴出している。なぜ議決を急ぐのか。

副区長 26年度予算にかかわるため、9月議会で議決いただきたい。

職住近接都市への転換

質問 住宅都市世田谷において、区民が落ち着いた町並みの中で働ける職住近接の促進は都市戦略の柱だ。ビジネスチャンスを生かすなど働ける場の拡大に力を注げ。

副区長 世田谷で創業するメリットなどについて調査研究していく。

保育園整備を妨げる条件の妥当性

質問 区は雇用の場の確保にもつながらる保育園整備を進めているが、事業者提案型の認可園整備では敷地が200坪以上と条件が厳しい。区の土地事情から条件を緩和せよ。

子ども部長 応募状況などにより、公募条件の緩和も視野に入れる。

小田急線上部利用問題への謝罪

質問 小田急線上部利用をめぐる、保坂区長は自分勝手な行動で都や関係者との信頼関係を悪化させたことを反省し、明確に謝罪せよ。

区長 区議会に対しても大変心配をかけたことについてお詫言する。

一 般 質 問

2月21日及び22日の本会議では、26名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



本文中で使用している省略表記

土木事業部長

⇨ 土木事業担当部長

教育環境部長

⇨ 教育環境推進担当部長

環境対策室長

⇨ 環境総合対策室長

支所⇨総合支所

環境リノベ事業

⇨ 環境配慮型住宅リノベーション支援モデル事業

国体⇨国民体育大会・全国障害者スポーツ大会

企業若者応援事業

⇨ 中小企業・若年者マッチング応援事業

岡本のぶ子議員(公明)

生活保護受給者への就労支援

質問 稼働年齢層の生活保護受給者への自立支援が重要だ。自立支援担当を設置して開設予定の三軒茶屋就労支援サービス拠点と連携を図るなど、支援を一層充実せよ。

答弁 新規事業などを活用し就労支援のプログラムや体制をつくる。

学校獣医師制度の導入

質問 動物との触れ合いを通じた情操教育は子どもの人格形成に大変重要だ。区立校に獣医師を派遣して飼育動物との適切なかわり方などを教える制度を導入せよ。

答弁 都の動物ふれあい教室や他区での状況などを踏まえ検討する。

軽度外傷性脳損傷の周知

質問 軽度外傷性脳損傷の認知度は低く、不調を感じても脳損傷と気づかず苦しむ人も多い。まずは症状などの情報を区民に周知し、適切な診断や治療に結びつけよ。

答弁 高次脳機能障害の理解促進などの取り組みの中で周知する。

村田 義則議員(共産)

情報公開制度の改善への取り組み

質問 区民の知る権利の実現に向け、我が会派は情報公開制度の改善への提案を重ねてきた。区長は制度上の課題などを整理するとしたが、どう取り組んでいるのか。

答弁 電子申請での開示請求導入に向け実務上の整理を行っている。

梅ヶ丘拠点への交通アクセス改善

質問 区は梅ヶ丘に保健医療福祉の全区的拠点を整備予定だが、玉川地域から梅ヶ丘への交通の便が悪い。バス路線の新設と敷地内へのバスの乗降場所の整備に取り組み。

答弁 バス路線の新設やバスベイの設置可能性などの検討を進める。

災害時の給食設備の操作体制

質問 区は学校給食調理業務の委託を進めている。災害時の避難所となる学校で、給食室の専門技術を要する火気装置を扱う職員体制がなくなるが、どう対応するのか。

答弁 他区の例を参考に、災害時の体制が確立できるように検討する。

津上 仁志議員(公明)

コミュニティサイクルの拡充

質問 観光振興の視点で「コミュニティサイクル」の拡充に取り組むべきだ。周遊性の向上に向け、多くの人でにぎわう下北沢駅や三軒茶屋駅にもネットワークを広げよ。

答弁 下北沢駅周辺の事業の進捗を鑑み、具体的に検討していく。

視覚障害者への道案内情報の充実

質問 今秋の国体開催に伴い、区には視覚障害者を含めた多くの来訪者が見込まれる。誰もが円滑に会場へ行くよう、ホームページに音声で聞ける道案内情報を載せよ。

答弁 道案内情報については有効性などを踏まえ、検討していく。

中学生の保育ボランティアの拡充

質問 中学生が乳幼児と触れ合うことは、命の尊さを学び、他人を思いやる力を育むきっかけとなる。駒留中で行っている夏休みの保育ボランティアを拡充せよ。

答弁 各校の実態や校長会などの関係者の意見を把握し、検討する。

上川 あや議員(虹)

無料ソフトの導入で経費の削減を

質問 来年4月で区の6500台の業務用パソコンのライセンス期限が切れる。億単位の更新経費を削減するため、ソースコードが公開されている無料ソフトに切り替えよ。

答弁 他自治体への調査などを行い、効果が見込めれば導入したい。

公園に食品移動販売車の導入を

質問 世田谷公園などの売店ではカップ麺などが売られておらず、品ぞろえが乏しい。民間の食品移動販売車を導入し、公園の魅力アップと使用料収入の確保を図れ。

答弁 潤いのある環境にする意味で試行する価値があると考える。

知的障害者も積極的に雇用せよ

質問 知的障害者を正規職員として安定雇用する自治体が増えていく。区も能力を発揮できるように工夫し、臨時職員だけでなく、正規職員や嘱託職員として採用せよ。

答弁 雇用の受入手法や仕事の提供方法などをさらに検討する。

佐藤 美樹議員(あらた)

保育施設整備目標を見直し

質問 保育待機児問題を抜本的に解決するため、21年度に策定した後期子ども計画での保育施設の整備目標を見直すべきだ。保育ニーズを再調査し、必要量を算出せよ。

答弁 まずは現行目標を達成することが最優先課題と認識している。

子どもが相談しやすい環境の整備

質問 新設の子どもの人権擁護機関では子どもが直接相談しやすい環境を整備すべき。中高生などを相談役として配置するパティ制度のような仕組みなどを導入せよ。

答弁 学生ボランティアの活用などを含め、今後検討していきたい。

スタンドパイプの購入方法の工夫

質問 スタンドパイプの道路路上への設置が広く認められた場合、設置を望む町会等の増加が想定される。一括・共同購入など、希望者が安く購入できる仕組みをつくれ。

答弁 複数から購入希望がある場合は一括購入できるように助言する。



新設された三子玉川公園(右は公園内の日本庭園「帰真園」)

唐沢 としみ議員(生ネ社)

区民参画を進める基本構想の策定

多様な区政課題の解決を図るためには、区民が区政のあらゆる分野に参画し、力を発揮することが必要だ。区長は新たな基本構想に区民参画の推進を掲げよ。

答弁 審議会に参加型の自治を進める構想にしようとして議論している。

若者の就労支援の充実

区が若者を総合的に支援する専門部署を新設し、若者支援の取り組みを強化することを評価する。若者の雇用情勢は依然厳しいため、特に就労支援を充実せよ。

答弁 産業振興公社が三軒茶屋に就労支援拠点を開設して支援する。

区民参加での玉川支所改築の検討

区は玉川支所の改築に向けた検討を始める予定だ。地域住民にとって魅力あるまちづくりを考える契機となるよう、十分な区民参加のもとで議論を進めよ。

答弁 庁舎の改築の検討は、区民の意見を聞きながら進める。

高久 則男議員(公明)

コンビニへのAEDの普及拡大

昼夜を問わずいつでもAEDを使用できる環境を整備すべきだ。主要駅周辺など、多くの人が利用する24時間営業のコンビニへの普及拡大に積極的に取り組め。

答弁 他自治体や区内の設置状況などから効果的な配置を検討する。

自治体間の災害時応援協定の拡大

区は、災害時に区と同時に被災しない距離にある熊谷市と相互応援協定を締結した。同様の協定を常盤道や東名道方面など、あらゆる方面の自治体と締結せよ。

答弁 先方自治体の意向を尊重し、実効性ある協定の締結に取り組む。

下北沢駅東側への駐輪場の整備

下の小田急線上部利用案内は、下北沢駅東側への駐輪場の整備計画がない。上部利用の中で難しいのならば、井の頭線盛り土部分の高架橋化を機に整備せよ。

答弁 設置に向けて京王電鉄と協議し、区としても対応を考える。

ひうち 優子議員(世田谷)

交差点への自転車ナビマーク設置

自転車は原則車道走行との警察庁方針により、横断歩道併設の自転車横断帯は順次撤去される。交差点内の安全確保に向け、導線を示す自転車ナビマークを設けよ。

答弁 警視庁のモデル実施の状況など、今後の動向を注視していく。

文字で直接視覚に訴える路面標示

自転車走行ルール違反の防止には、信号確認や左側通行などを文字で視覚に直接訴える路面標示が有効だ。区内の一部で実施している路面標示を全区で展開せよ。

答弁 路面標示試験箇所での調査などを踏まえ、警視庁と協議する。

通学路の安全対策の強化

通学路での交通事故が全国で相次いでおり、区でも対策を一層強化すべきだ。警察と連携して学校の安全マップを充実するなど、ソフト面の取り組みに力を注げ。

答弁 警察とも連携し、ハード、ソフト両面で対策の強化を図る。

高岡 じゅん子議員(生ネ社)

生活支援と就労支援の連携強化

経済的な困難を抱え生活保護の相談に来た人を確実に就労につなぐ体制が不可欠だ。生活支援と就労支援の部門の連携を一層強化して生活再建を支援せよ。

答弁 関係部署が情報共有に努め、支援できる体制が必要だと考える。

多様な就労支援のできる拠点を

就労が難しい個々の理由に寄り添った支援が必要だ。開設予定の三軒茶屋就労支援サービス拠点は、区が行う多様な支援と相談者をつなぐ機能を担え。

答弁 キャリアカウンセラーが相談者ごとのきめ細かな対応を行う。

区民参画による防災塾の実施

実施予定の防災塾を活用し、地域防災の新たな担い手を確保すべきだ。地域の防災課題を実感でき、参加者の意識を高めるプログラムを区民と協働して組み立てよ。

答弁 区民主体の参画型プログラムも必要であると考えている。

青空 こうじ議員(無所属)

新BOPPでの職員体制の工夫

新BOPPでは、活動内容などに応じて参加する子どもの数が増減している。この状況に対応するため、職員体制の面でのような工夫を行っているのか。

答弁 臨時職員のシフトを柔軟に組み合わせ、工夫している。

新BOPPでの食物アレルギー対策

食物アレルギーがある子どもは、少量の誤食でさえも重大な事態になりかねない。おやつを提供する新BOPPでもアレルギーの把握と緊急時の対応を徹底せよ。

答弁 新BOPP安全管理マニュアルの改訂の中で、対策を徹底した。

新BOPPでの緊急時の対応力向上

食物アレルギーによるショック症状には、症状を緩和する自己注射薬が有効だ。注射も含め、緊急時に適切に対応できるように、新BOPP職員への研修を充実せよ。

答弁 新BOPPでの緊急時の対応力の向上に継続的に取り組む。

江口 じゅん子議員(共産)

高齢者の見守り活動での区役

高齢化が進み、高齢者の見守り活動は重要だ。区の役割として、支援が必要な区民には区の責任で直接支援し、同時に自助・互助への支援にも積極的に取り組め。

答弁 あんしん見守り事業を充実し、地域とともに高齢者を見守る。

学校と連携した若者支援

ひきこもりや二つの若者はいじめや不登校を経験していることが多い。必要な支援を行うため、新設の若者支援の専管部署は学校や教育委員会と密に連携せよ。

答弁 学校などとの連携が欠かせず、効果的な支援策を検討する。

学校跡地への特養ホームの整備

特養ホーム待機者が多い中、旧希望丘中跡地活用方針素案で、特養ホーム整備などが提案され、住民の期待は大きい。案策定にあたり、改めてその整備を求める。

答弁 さまざまな意見を聞き、よりよい施設整備を進めていく。

あべ 弘幸議員(自民新)

バイクの駐輪スペースの確保

バイクの駐輪場は駅周辺で不足しており、路上駐輪せざるを得ない状況だ。区営駐輪場の原付バイク駐輪スペースは50ccを超える原付バイクも駐輪可能とせよ。

答弁 各駅の状態を注視しながら検討する必要があると考える。

みどり33の達成に向けた取り組み

みどり33の達成には区民の協力が不可欠だ。70、80年代の理論に基づき設定された33%の根拠を現在の科学的知見から説明し直し、区民の理解を得ながら進めよ。

答弁 区民などの協力を得て、みどり33の取り組みを層推進する。

在宅介護における医療との連携

介護を受けている在宅高齢者を緊急時に医療につなぐ体制を強化すべきだ。介護事業者と医療機関との情報共有体制の強化や顔の見える関係づくりを支援せよ。

答弁 情報の共有化などによる医療と福祉の連携を一層推進する。

小泉 たま子議員(自民新)

歩いて暮らせるまちづくりの推進

地区でどのような行政サービスを展開すべきかについてのビジョンが区にはない。歩ける範囲内で生活が成り立つという視点で全ての行政サービスを見直せ。

答弁 地区の行政サービスについて町会などと同じく充実を図る。

青少年対策の体系化

区の青少年対策の総合的な方針が不明確だ。区は若者支援の担当部署を設置する前に、まずは区の多様な青少年施策を体系化し、責任者や推進組織を明確にせよ。

答弁 若者の支援事業などを次期基本計画に体系的に位置づける。

お元気高齢者の担当部署の移管

お元気高齢者施策を福祉領域ではなく区民生活領域で所管するよう求め、区はその方向性を了解したはずだが、いまだに実現していない。早急に移管せよ。

答弁 次期基本計画の検討に着手しており、その中で整合性を図る。

上山 なおのり議員(自民新)

世田谷手帳の発行

全国40の県が各県の概要や名産品などの多様な情報を掲載した県民手帳を発行しており人気を博している。区も情報を一層発信するため、世田谷手帳を発行せよ。

答弁 持ち歩きができるガイドのあり方を関係所管で協議する。

通学路の安全対策の実施状況

通学路の緊急合同点検の結果、区が対策を講じる必要がある箇所は138カ所もあり、一刻も早い対応が必要だ。区が緊急に進めている対策工事の進捗状況を示せ。

答弁 2月1日時点の集計で、実施済みの対策箇所は90カ所である。

体罰への対応

昨今の体罰問題をめぐるマスコミの報道が世間を騒がせている。区は区立校での体罰の状況について現在調査中だが、今後体罰についてどう対応していくのか。

答弁 万一体罰が判明した場合に、厳正に対処していく。

桃野 よしふみ議員(み・行)

個人情報の適切な管理

世田谷248ホームページのインターネット申し込みは、初期設定が個人情報の営利目的利用を承諾する設定となっており、説明もわかりにくい。改善せよ。

答弁 丁寧な説明を掲載するなど、個人情報の適切な管理に努める。

世田谷みやげの制度の検証

世田谷みやげに指定されても冊子などで商品がPRされるだけで、売り上げにどう貢献したかは不透明だ。事業者の意見を検証し、メリットの高い制度へ見直せ。

答弁 全事業者アンケートの実施などを産業振興公社に働きかける。

世田谷みやげのブランド力向上

世田谷みやげのブランド力向上に取り組みたい。区民の投票で「ベストオブ世田谷みやげ」を選ぶなど、世田谷みやげである価値を高めるような工夫を凝らせ。

答弁 ブランド発信などの一層の工夫を産業振興公社に働きかける。

木下 泰之議員(緑の党)

著書の重大な誤記への区長の対応

先の議会で区長著書中に小田急線連立事業での電鉄側負担金を2倍にも過大に見た誤りを指摘し、区長は誤記があれば次版で訂正と答えた。その後の対応を示せ。

答弁 版を改める時に訂正するため、編集部に正誤表を渡している。

小田急電鉄の負担金額内訳の把握

小田急線連立事業の総事業費は794億円に増加だが電鉄側負担は50億円と過少だ。その余は税金支出だが区は受益相当額とする電鉄側負担の内訳を把握しているか。

答弁 鉄道事業者の負担する内訳については把握していない。

京王線連立事業資料の情報開示

区の働きかけでは都の京王線連立事業に係る資料の情報開示が進まなかったが、市民の請求で一部開示の答申が出された。区はしっかりと情報開示を求めたのか。

答弁 引き続き区民が求める情報を提供するよう都などに求める。



地下化した小田急線下北沢駅

中村 公太朗議員(民主) 若者の就労定着に向けた支援

質問 企業若者応援事業では短期間で離職してしまう例が少なくない。事業費を無駄にしないために、離職理由などを調査し、就労が定着するよう取り組む。

答弁 早急に本事業の離職理由などを把握し見直しなどに取り組む。

大企業との災害時協力協定の締結

質問 区内企業との災害時の協力体制を拡充すべきだ。特に物資や避難スペースの面で大きな協力が見込める大企業との災害時協力協定の締結に積極的に取り組む。

答弁 企業の意向や実効性、有効性を考慮し、具体的に取り組む。

放置自転車売却時の確認体制

質問 放置自転車の売却は税外収入の確保の面からも評価するが、京都市では業者から引取量を不正申告された事件があった。区の売却時のチェック体制は大丈夫か。

答弁 区職員が立ち会って台数確認を行うっており問題は発生しない。

てるや 里美議員(生ネ社)

区立校への看護師の配置

質問 医療的ケアの必要な子どもが通常学級を希望した場合、保護者の同伴がなくても通えるよう、看護師を配置するなどの対策を講じよ。

答弁 今後、先進事例なども参考に研究を進めていきたい。

障がい児の総合的支援体制の整備

質問 障がい児を取り巻く課題やニーズなどに対応した総合的な支援体制を整備していくためには、実態把握が必要だ。区の今後の取り組みについて伺う。

答弁 支援体制の整備に向け情報収集方法やモデル事業を検討する。

廃食用油のリサイクル石けんの推進

質問 廃食用油のリサイクル石けんは合成洗剤に比べて環境配慮や人体への安全性に優れ、利用を通じてリサイクルの意識づけともなる。本庁舎などで積極的に採用せよ。

答弁 廃食用油のリサイクル製品を含め、適切な製品の選定に努める。

三井 みほこ議員(自民新)

区立校での救急救命講習の拡充

質問 人の命を助ける意識を子どもたちから育むべきだ。消防庁の小学校高学年向けのAED講習などを取り入れるなど、区立校での救急救命の取り組みを強化せよ。

答弁 初期消火やAEDの講習などの取り組みを一層推進する。

芸術アワード飛翔受賞者への支援

質問 芸術アワード飛翔の受賞者を受賞後も継続して支援すべきだ。区内の文化施設で過去の受賞者の作品を展示する「世田谷アワードフェスティバル」を開催せよ。

答弁 回を重ねた段階で過去の受賞者の創作の発表などを検討する。

風疹の予防に向けた取り組み

質問 妊婦が風疹に感染した場合、胎児が難聴などになる危険性が高まる。妊婦はワクチン接種ができないため、特に同居家族にワクチンを接種するよう周知を徹底せよ。

答弁 さまざまな方法で周知啓発を積極的に進めていく。

あべ 力也議員(減税)

認可保育園入園選考基準の見直し

質問 保育待機児が増加しており、認可園の入園選考における公平性の確保と徹底した情報公開が強く求められている。保育定員枠の増を目標とした駆け込み転入に一定の歯どめをかけるため、選考基準に区民である期間や待機月数の期間、納税期間などを導入せよ。

答弁 実態を調査分析し、区民の声なども踏まえ区民である期間などの取り扱いを多角的に検討する。

多文化共生推進計画の策定

質問 日本人の生産年齢人口と労働力人口は激減し、外国人労働力の増大やそれに伴う多文化共生社会の到来は避けて通れない。多文化共生社会の実現に区が率先して取り組む姿勢を示すため、外国人施策に係る指針や施策の根拠となる多文化共生推進計画を策定せよ。

答弁 具体的な施策に庁内横断的に取り組み、地域でいきいきと暮らせる社会の構築を目指す。

新川 勝二議員(自民新)

退院後の認知症高齢者の在宅支援

質問 退院した認知症高齢者の在宅介護の負担から家庭崩壊に至る例が多いと聞く。認知症高齢者が安心して在宅生活を送れるよう、退院後の家族支援の充実を図れ。

答弁 病院からの在宅復帰を支える老健施設の整備を検討している。

歴史的財産を活用したまちづくり

質問 地域の歴史や文化、景観を生かした取り組みを推進すべきだ。歴史ある世田谷城址公園の拡張整備とボロ市通りの環境整備を進め、周辺地域のブランド力を向上せよ。

答弁 城址の測量などの調査結果や地権者の意向をもとに検討する。

商店街活性化策のさらなる推進

質問 ボロ市通りでは、和風情緒で統一感のある町並みづくりやまち歩き仕組みづくりに取り組んできた。この成果を今後の商店街の活性化に積極的に生かせ。

答弁 この取り組みを各商店街に周知し、活性化策に波及させたい。

福田 妙美議員(公明)

バス路線延伸に向けた実験運行

質問 二子玉川駅と宇奈根地区会館などを結びコミュニティバスの喜多見団地方面への延伸に向けた実験運行が実施される。多くの人に利用してもらえよう広報せよ。

答弁 区のおしらせなどの多様な広報媒体を活用して周知を図る。

マンション相談の充実

質問 区のマンション相談は1カ月のうち平日2日の各2時間のみで、窓口もわかりにくい。建てかえが必要なマンションがふえることを踏まえ、相談体制を充実せよ。

答弁 相談のPR方法を工夫するとともに内容の充実も図っていく。

中等難聴児の補聴器購入費助成

質問 公的援助が受けられない中等難聴児がいる世帯には、高額な補聴器購入費用は大きな負担だ。区は購入費助成を支援する都の新規事業を活用し、助成に取り組め。

答弁 都の事業説明会の内容を把握し、助成の可能性を検討する。

山内 彰議員(自民新)

区の歴史を学ぶ機会の拡充

質問 区内に残る古道の由来など、地域の成り立ちを次世代に継承する取り組みに力を注ぐべきだ。世田谷区歴史・文化財マップを区立校での授業で積極的に活用せよ。

答弁 歴史を学ぶ上で大変有効であり、今後活用を検討していく。

注目が高まる大山道へのかわり

質問 歴史ある大山道への注目が高まっており、区民による研究や地域団体主催のイベントなどが行われている。こうした動きに区はどうかかわっているのか。

答弁 地域の学習会の支援や大山道マップの発行などを行っている。

歴史的文化的財の積極的な活用

質問 大山道などの古道を初めとした区内の歴史的文化的財を積極的に活用すべきだ。まち歩き観光やまちおこしの素材として今後、区はどのように活用していくのか。

答弁 関係所管が連携し、まちなか観光への活用を推進していく。

和田 秀壽議員(自民新)

新設の都市デザイン課の取り組み

質問 区民が愛着を持ち、安心して暮らせるまちを目指すべく、新設の都市デザイン課では、地域風景資産の選定とユニバーサルデザインのまちづくりを一層進めよ。

答弁 世田谷らしい町並みの形成や人に優しいまちづくりを目指す。

学校運営に必要な人材の確保

質問 区立校は学校関係者評価委員などの多くの人材に支えられている。全区立校が地域運営学校に指定されるとより多くの人材が必要となるが、どう確保するのか。

答弁 教育施策を丁寧に説明するなど協力してもらえよう努める。

地区情報連絡会の目的

質問 地区力の向上は重要な課題だ。地区のネットワークの強化に向け、区は総合的な情報交換の場として地区情報連絡会を開催するとしてしたが、これ何を目指すのか。

答弁 多くの団体などに参加を呼びかけ広く情報や課題を共有する。

上島 よしもり議員(自民新)

外環道整備に伴う事業継続支援

質問 外環道整備に伴い移転の対象となる商工業者の多くが区内での事業継続を希望している。東名道の高架下を利用できるような国に要請するなど、支援に尽力せよ。

答弁 高架下の利用などを含めて国や高速道路会社に働きかける。

地域の文化スポーツ活動の促進

質問 区民の自主的な文化やスポーツの活動は地域のきずなづくりなどに大きく寄与している。活動の活性化を図るため、ホームページや出張所などで積極的に紹介せよ。

答弁 さまざまな自主活動団体の情報提供の充実にも努める。

最適な電算システムの運用

質問 区の電算システムは技術革新などを踏まえて最適なものとなるよう運用すべきだ。機器の保守期限の機を捉え、電算システム全体のあり方を計画的に見直せ。

答弁 最適な方式を見定め計画的で効率的なシステム運用に努める。

すえおか 雅之議員(みんな)

正確な財政見通しの明示

質問 区政運営には正確な財政見通しが不可欠だ。中期財政見通し「に景気動向を踏まえた財政状況の予測や今後の大型事業ごとの財源の見直しなどを具体的に示せ。

答弁 今後財政見通しを示す際には、さらなる工夫をしていきたい。

子どもの人権擁護機関の位置づけ

質問 新たな子どもの人権擁護機関は区長と教育委員会の附属機関として設置される予定であり、これでは責任の所在が不明確だ。区長へのみの附属機関として設置せよ。

答弁 区全体で取り組んでいくため、両機関の附属機関とした。

中国の都市との姉妹都市交流

質問 姉妹都市交流を進め、経済交流による地域経済の活性化と友好関係の構築を図るべきだ。区長は経済面などで急成長する中国の都市との姉妹都市提携を実現せよ。

答弁 東アジア近隣諸国との関係づくりを志していきたい。

区議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。ぜひお越しになり、直接、会議の様子をごらんください。

傍聴席は、本会議場に69席、委員会室に6席(予算・決算特別委員会室は12席)用意してあります。車いすでの傍聴もできます。

本会議や委員会の開催日については、区議会ホームページでご確認いただくか、区議会事務局にお問い合わせください。なお、定例会の会期については、区のおしらせにも掲載しています。

◇傍聴する場合

区議会事務局の傍聴受付で住所と氏名を記入し、傍聴券の交付を受けてください。

◇傍聴のお問い合わせ先

区議会事務局庶務係
TEL (5432) 2772
FAX (5432) 3030



会派等の意見

平成25年度予算を審査するため、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月6日から3月21日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された25年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。



予算特別委員会の採決の様子

本会議での意見表明者

- 自由民主党世田谷区議団・新風
- 山口ひさ議員
- 公明党世田谷区議団……津上 仁志議員
- 生活者ネットワーク
- 社会民主党世田谷区議団……唐沢としみ議員
- 日本共産党世田谷区議団……中里 光夫議員
- 世田谷民主党……風間ゆたか議員
- みんなの党・世田谷行革10番
- ……桃野よしひみ議員
- 緑の党Greens Japan世田谷
- ……木下 泰之議員
- 減税世田谷……あべ 力也議員
- リンボー世田谷……上川 あや議員
- 世田谷無所属……ひうち優子議員
- 未来あらた世田谷……佐藤 美樹議員
- みんなの党……すえおか雅之議員
- 無所属……青空こうじ議員

区長は将来展望を区民に示し 誠実に区政運営を行え

自由民主党世田谷区議団・新風

(全ての会計に賛成する意見)

財政難や少子高齢化、保育待機児の増加、予想される首都直下地震、インフラの老朽化など、対応すべき区政課題がめじろ押しだ。限られた財源をどう配分するのかについて判断することが区長の仕事であり、その根拠として区民に示すものが区の将来展望だ。

区長は25年度予算案を「災害に強い福祉文化都市」をつくる予算と位置づけた。これは区長が得意とする曖昧な表現であり、予算案の中身も曖昧なものとなっている。「災害に強い福祉文化都市」という言葉の中には災害と福祉、文化の3つの分野が盛り込まれており、さらに災害対策には、地域コミュニティでの対応と危機管理、都市整備の3つの要素が含まれる。これは区政の大方を表現してしま

う実に巧みな言葉だが、これでは区長が何をしたいのかが全くわからない。区長が打ち出す施策には裏づけとなる区の将来展望が欠けている。

先の大震災を踏まえ、国は「国土強靱化」都は「高度防災都市づくり」としてそれぞれの25年度予算で積極的な基盤整備を打ち出した。財政状況が厳しい中でも、首都直下地震などに備えて老朽化した道路や橋梁、公共施設の整備を着実に進めていかなければならない。区においても、災害対策としての基盤整備や老朽化した区施設の計画的な更新に積極的に取り組むべきだ。施設整備は単に施設だけの問題にとどまらず、行政の役割や地域行政のあり方などの検討にもかわるため、しっかりとした区政の将来像を描くことが必要だ。区長は区民の生命と財産を守

ることが区政の最大の使命であることを肝に銘じ、将来を見据えた展望を示せ。

区長は災害に強い福祉文化都市の実現を掲げたものの、区民の生命を守ることにつながる都市基盤整備を積極的に進める姿勢が見られない。一方で、福祉政策を強力に推し進める施策も見当たらない。区政を無難にやり過ごすようなこの予算案は、区長が曖昧な将来展望しか示していないことや的確なリーダーシップを発揮していないことにより職員のモチベーションが下がっていることであらわれではないかと危惧する。区長は区の展望を「示さない」のではなく、展望を描いて区長になったわけではないから「示せない」が実態なのかもしれない。

区の展望を語らない区長の関心事は何か。自身のツイートの対する反応が、次なる著書の構想か。それとも区政などは横に置いて、2年後の選挙に思いをはせているのか。なぜ信念とも言える公約をほごにしてまでしたたかに区政運営を行うのか。

区長が議会との信頼関係を全く築けていないことも問題だ。日ごる地域で区民に接している職員や区議会議員と向き合っている職員について議論せよ。区長がマスコミやツイッターを通じて流す情報は私的に発信したものであっても、区長のものでして伝わることを認識せよ。区長は自身の発言が区政に混乱を招き、区民の不利益につながる可能性があることを認識し、発言に責任を持て。

25年度予算案に対する我が会派の賛否の判断は、大変悩ましいものだ。車座集会という少数の区民による区政参加の手法や情報公開と言いつながら不都合なことは語らない有言不実行な姿勢、議会軽視のパフォーマンス、地方行政の役割にそぐわない施策、現場軽視の子どもの人権擁護機関の設立、目的の見えない若者支援組織の創設、

都などの信頼関係を一方的に壊したことで多額の財政支出が懸念される小田急線上部利用などは、今後の成り行きによっては、区長の重大な責任問題になる。こうした区長の区政運営に対する姿勢を見れば、予算案には賛成しがたい。しかし、区議会第一会派が反対することによる区民生活の混乱についても考える必要がある。この予算案に対する我が会派の賛成の態度は区長への評価ではなく、区民生活のために区政をとめてはならないとの苦渋の判断によるものだ。今回の予算案への判断は保坂区政を認めたものではなく、行政の継続性と安定性に目を向け、予算案そのものをおおむね了承するというものでしかない。

今後、区長の予算執行のあり方は是非を一層注視していく。

区民の生命と生活を守る 福祉先進都市を実現せよ

公明党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)

東日本大震災の発生から2年が過ぎてもなお、多くの被災者が避難生活を余儀なくされている。被災者の苦しみを忘れず、被災者に寄り添い励まし続けてきずなを深め、社会を挙げて被災地の再建を全力で支えることが重要だ。

我が党は国民の生命と財産、生活を守ることを最優先の課題であるとして、命を守る公共事業を推進する防災・減災ニューディール政策を主張してきた。国が南海トラフの巨大地震による甚大な被害の想定を発表したことも踏まえ、老朽化した道路や橋梁などの早急な総点検と計画的な整備を行え。災害時に復旧と復興の拠点として十分な機能を発揮できるように、本庁舎の建てかえの検討に着手せよ。25年度予算案に我々が主張してきた災害対策の強化や環境リノベ

事業の実施、子育て支援の充実などを盛り込んだことを評価する。一方で、持続可能な財政運営のためには事業の無駄などを見つけやすい新しい会計制度が必要だ。発主主義型複式簿記会計を導入せよ。以下、我々が重要課題と考える施策について意見を述べる。

第一に、地区の機能の強化に向け、地域行政制度のあり方を再検討すべきだ。地区に管理職を順次配置していくことは評価するが、防災減災対策の強化と日ごろからの高齢者見守りネットワークの構築も重要だ。出張所やまちづくりセンターとあしんすこやかセンター、社会福祉協議会などの連携を一層強化せよ。

第二に、区の魅力を効果的に発信する取り組みが必要だ。官民協働による専門組織をつくり、シテーパーロモーション戦略を打ち出せ。世田谷ナンバーの導入に当たっては、産業活性化と観光振興につながるよう戦略的に取り組め。

第三に、保育待機問題は極めて深刻かつ喫緊の課題だ。子育て家庭が安心して子どもを預けることができるよう、施設整備に全力を注ぎ、27年度に本格実施される子ども・子育て新システムのもとでも保育の質を確保するとともに、認証保育所や区独自の保育室、保育ママ制度への支援が拡充されるよう国に積極的に働きかけよ。

第四に、国民病とも言えるがんの早期発見と早期治療は重要だ。検診の充実とさらなる療養支援、がんについての教育と知識の一層の啓発に強力に取り組むため、がん対策推進条例を制定せよ。

第五に、増加する心の病に対する取り組みが急務だ。予防に向けた啓発や早期発見とケアの仕組みづくり、区が積極的に取り組むという姿勢を示すため、心の健康先進都市世田谷宣言を表明せよ。最後に、不登校やひきこもりなどのさまざまな問題を抱える若者を総合的に支援するため、我々が

求めてきた若者支援の専管組織を立ち上げることが評価する。新組織では関係部署と連携して若者のニーズに的確に対応せよ。

より多くの区民参加を得て 区民が主役の区政を実現せよ

生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)

災害に強い福祉文化都市の実現を目指す区長の姿勢を評価する。デフレ脱却に向け、私たちは雇用の安定と賃上げにつなぐよう地域経済の活性化を求めてきた。公共事業での区内事業者の活用促進、公契約条例の制定などに取り組め。

無作為抽出により広く区民意見を聴くなど、多くの区民参加を得られる取り組みを今後も継続せよ。人権教育を充実し、誰もがありのままに暮らせる社会を実現せよ。行政経営改革を一層推進する一方、低所得者への配慮を求める。以下、個別課題について述べる。

大人と子どもは対等な人権を持つことを認識し、いじめや暴力で傷ついた心のケアと人権擁護機関での個々に寄り添った対応を求める。若者支援担当課では就労支援と居場所づくりに若者と地域と共に取り組め。災害対策では子どもや女性、性的マイノリティーに配慮せよ。インクルーシブ教育を充実せよ。福祉施設の整備や梅ヶ丘病院跡地利用計画を着実に進めよ。省エネ、自然エネルギーの促進は区民と協働で行え。農地と緑の保全を進めよ。既存の保育施設の支援を強化せよ。区民意見を尊重し区立幼稚園のあり方を検討せよ。庁舎問題は建てかえや改修を含めた検討に着手せよ。川場移動教室実施の際は除染などの放射能対策と情報公開を徹底し、子どもと保護者への放射能教育を充実せよ。区民が主役の区政を実現できる職員の育成と執行体制の整備を進めよ。

25年度予算に対する

予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>

議会中継 をクリック！

区民のくらしと安全を最優先した
区政運営を行え

日本共産党世田谷区議団
一般会計と国保会計と後期高齢者会計と介護
会計には反対、給食会計には賛成する意見

自治体の本来の役割は区民福祉
の増進に取り組むことであり、福
祉の拡充こそ最優先で行うべきだ。

しかし、25年度予算案は高齢者の
紙おむつ支給の削減など、行政改
革を理由に福祉を切り捨てる内容
となっている。一方で、区は風害
への抜本的な対策を講じることな
く二子玉川再開発を進めている。
また、区には高層化を招く下北沢
再開発や住民合意がない大型道路
整備を伴う京王線連立事業を見直
す姿勢が見えない。以上の理由か
ら25年度一般会計などに反対する。

以下、区政課題に対し要望する。
紙おむつ支給の削減は撤回せよ。
国保料の独自軽減制度の創設や介
護保険料の軽減策の拡充に取り組
め。住宅リフォーム助成と中小企
業への融資制度を充実せよ。認可
保育園の増設と保育室の拡充に取
り組め。特養ホームを増設せよ。
公契約条例を制定せよ。住宅耐震
化への取り組みを強化せよ。行き
止まり路の解消や橋梁などの安全
確保を図れ。京王線連立事業や下
北沢再開発、外環整備は見直せよ。
本庁舎の改築より、保育所や特養
などの整備、老朽化した集会所設
や学校などへの対応を優先せよ。

限りある予算を最大限に活用し
時代に合った施策を展開せよ

一世田谷民主体党

(全ての会計に賛成する意見)

予算審査では、我々が求めてき
た教育予算のハード面の経費削減
を確認できた。今後は土木事業や
道路整備の経費削減に力点を置き、

さらなる行政改革を進めよ。

教育長を初めとした幹部職員
の刷新や適材適所の職員配置を評価
する。一層の組織の活性化を図れ。

産業政策を外郭団体に丸投げせ
ず、区みずからベンチャー企業の
支援などに積極的に取り組め。

保育待機児の解消に一層尽力せ
よ。介護人材の確保に向け、区と
しても積極的に支援せよ。

我々は高齢者の紙おむつ支給に
係る予算の組み替え動議には、内
容には賛同できるものの予備費を
使うことに同意できないため反対
し、川場移動教室中止に係る動議
には、放射能への保護者の不安が
大きいため賛成した。動議は実現
しなかったが、区長の姿勢をおお
むねよしとし、予算案に賛成する。

今取り組むべき課題と向き合い
解決に向けた姿勢を明確に示せ

みんなの党・世田谷行革110番

(二般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

25年度予算案には、困難な課題
に取り組みもつとする区長の姿勢が
全く見られない。災害対策と切り
離せない本庁舎の老朽化問題に対
して、区長は傍観者のような態度
に終始している。また、奥沢区民
センターの耐震診断未実施の問題
や災害復興の過程で不可欠な区内
への火葬場設置の課題も放置した
ままだ。災害に強い世田谷を目指
すのならば、問題を先送りせず緊
急性の高い課題から着手せよ。

区民が納得できる明確な根拠も
ないまま、区長は25年度から若者
支援に取り組むとした。区長の思
い込みや好みに、限りある予算や
職員の力を注ぐことなど到底許さ
れない。これは世田谷ナンバーワ
ン入の件でも同様だ。反対の声には
一切耳を傾けず、導入に向けて突
き進むことなどあってはならない。
区政を区長の思い込みで一定の方
向に導こうとする姿勢を改めよ。

区長は公約無視の姿勢を改めよ

緑の党 Greens Japan 世田谷
一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見

脱原発を掲げる区長は放射線量
の高い川場村での移動教室を中止
せよ。公共事業見直し公約は守れ
よ。京王線高架化は地下に、小田急線
上部利用や都計道見直しを区民参
加で行え。庁議は議事録を作成し
公開せよ。風害の解決もできぬ二
子玉川再開発事業は中止し見直せよ。

議会と役人がまず身を切る改革を
行え

減税世田谷
全ての会計に賛成する意見

高齢者見守りネットワーク事業
では個人の尊厳と意思を尊重せよ。
保育待機児解消に知恵を絞れ。子
宮頸がんワクチン接種の適切な情
報提供に努めよ。本庁舎整備を早
急に検討せよ。無作為抽出による
区民意見収集を拡大せよ。行政委
員の報酬などを区民に広報せよ。

決断力を持って施策を実現せよ

レインボー世田谷
全ての会計に賛成する意見

(全ての会計に賛成する意見)

区の重要施策を審議する庁議の
全体を公開せよ。男性向けの相談
窓口も開設せよ。区立校で性的マ
イノリティーの支援につながる調
査を行え。急傾斜地の崩落防止対
策を行え。低所得者向けの医療費
減免を積極的に広報せよ。人工内
耳の体外機器購入費を助成せよ。

無駄のない区政運営を実現せよ

一世田谷無所属
全ての会計に賛成する意見

地域を挙げた落ち葉対策を講じ、
緑保全の意識を高めよ。区役所の
備蓄品を充実するなど帰宅困難者
対策を強化せよ。幼児一人同乗用
自転車利用を啓発せよ。図書
館ターミナルの設置を進め図書
館不便地域を解消せよ。区施設へ
の公衆無線LANの整備を進めよ。

確かな目標に基づく保育施設整備

未来あらた世田谷
全ての会計に賛成する意見

財務会計システムの電子決裁化
に当たり、不正ログインによる決
裁がないよう外部監査でチェック
せよ。保育待機児対策は整備計画
自体の見直し、支所単位での人口
把握、保育手法の検討など、抜本
的に立て直せ。行政評価システム
での評価を予算編成に生かせよ。

構想と戦略を持ち区政を運営せよ

みんなの党
全ての会計に賛成する意見

増大する財政需要を全て数値化
し、中長期財政見通しに組み込め。
子どもの人権擁護委員の任免権を
区長に限定せよ。三軒茶屋就労支
援拠点が多くの人に利用されるよ
う工夫せよ。空き家の有効活用を
進めよ。説得力に乏しい川場移動
教室中止に係る動議に反対する。

地域の小さな声を区政に反映せよ

無所属
全ての会計に賛成する意見

(全ての会計に賛成する意見)

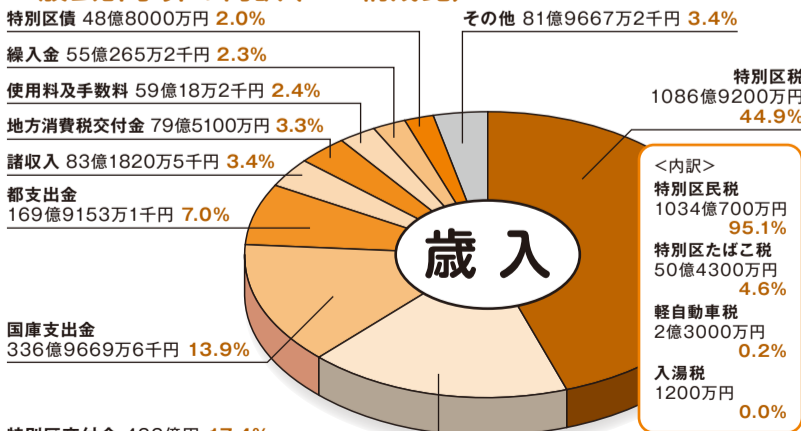
区立小の統廃合を進める際には、
地域への丁寧な説明と十分な配慮
を求める。旧希望丘中学校舎は、中
高生世代が中心となって利用できる
施設として活用せよ。区政運営
に当たっては、地域の小さな声を
区政に十分反映させるとともに、
説明責任をしっかりと果たせよ。



平成25年度各会計予算

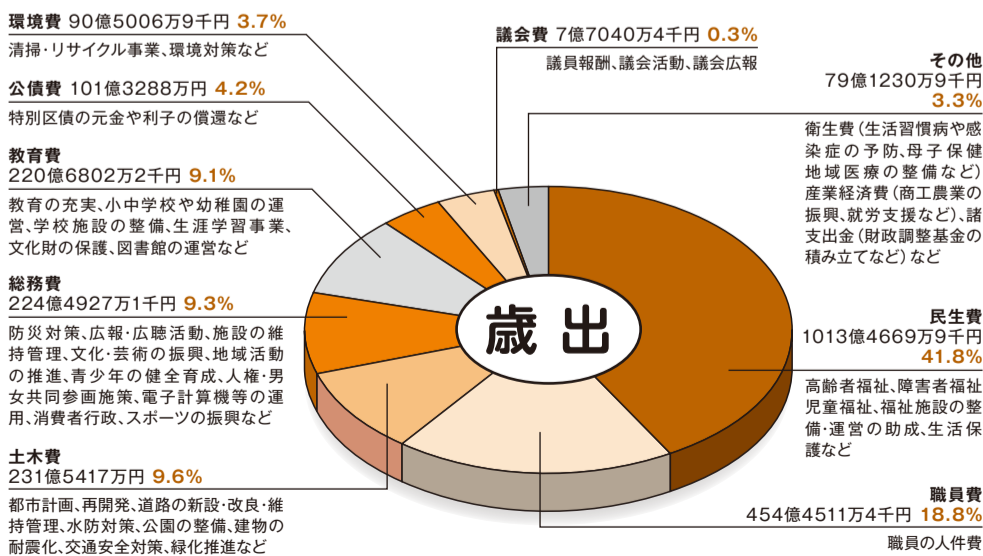
内 容	対前年度比伸び率 (%)
一般会計	2423億2893万8千円 -0.2
特別会計	
国民健康保険事業会計	787億6333万1千円 -1.4
後期高齢者医療会計	177億4727万円 -3.0
介護保険事業会計	524億9920万8千円 4.0
中学校給食費会計	1億6317万3千円 5.7
計	3915億 192万円 -0.0

一般会計予算の内訳 (%=構成比)



※構成比 (%) は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないものがあります。

平成25年度 予算のあらまし



第2回定例会は6月に開催する予定です

1ページからの続き

- 道路標識の寸法条例 (全員賛成)
- 道路法の改正に伴い、区道に設置される案内標識などの寸法や文字の大きさの基準を規定。**22件**
- 財団法人に対する助成等条例 (全員賛成)
- せたがやの家の供給条例 (全員賛成)
- 公益的法人等への職員派遣等条例 (全員賛成)
- 以上3件は、財団法人世田谷トラストまちづくりの一般財団法人への移行に伴う規定の整備。
- 職員定数条例 (賛成多数 賛成 議員 緑の党 賛成多数 賛成 議員 世田谷あたらみな無所属 反対 議員)
- 職員定数の削減など。
- 手数料条例 (全員賛成)
- 社会福祉法の改正により、証明事務に関する手数料を定めることなど。
- 発達障害相談・療育センター条例 (全員賛成)
- 身体障害者自立体験ホーム条例 (全員賛成)
- 地域保健福祉推進条例 (全員賛成)
- 障害認定審査会委員定数等条例 (全員賛成)
- 以上4件は、障害者自立支援法の改正に伴う規定の整備。
- 心身障害者休養ホーム条例 (全員賛成)
- ひまわり荘の運営の全面委託化に伴う事業の追加や施設使用料の設定など。
- 総合福祉センター条例 (全員賛成)
- 障害者自立支援法の改正などに伴い、児童福祉法に基づく放課後等デイサービスを廃止することなど。
- 障害者福祉施設条例 (全員賛成)
- 知的障害者生活寮条例 (全員賛成)
- 以上2件は、障害者自立支援法と同施行規則の改正に伴う規定の整備。
- 区営住宅管理条例 (全員賛成)
- 公営住宅法の改正に伴い、使用者の要件や区営住宅などの整備基準を定めることなど。
- 地区計画区域内の建築物制限条例 (賛成多数 賛成 議員 緑の党 賛成多数 賛成 議員 世田谷あたらみな無所属 反対 議員)
- 政務調査費交付条例 (全員賛成)
- 地方自治法の改正に伴い、政務調査費を政務活動費に改めることなど。
- 都市の低炭素化の促進に関する法律の制定に伴い、低炭素建築物に係る容積率の算定の特例を定める。
- 公園条例 (賛成多数 賛成 議員 緑の党 賛成多数 賛成 議員 世田谷あたらみな無所属 反対 議員)
- 公園に係る使用料と占用料の改定及び次の公園の新設。

名称	所在地
一子玉川公園	玉川1-16-1
給田北公園	給田5-6-12
成城みつ池北緑地	成城4-22-31

- 特別職報酬等審議会条例 (全員賛成)
- 地方自治法の改正に伴う規定の整備。
- 国民健康保険条例 (賛成多数 賛成 議員 緑の党 賛成多数 賛成 議員 世田谷あたらみな無所属 反対 議員)
- 保険料率の改定など。
- 特別区道路線の認定 (全員賛成)
- 特別区道路線の廃止 (全員賛成)
- 区議会委員会条例 (全員賛成)
- 地方自治法の改正に伴い、特別委員の在任期間を定めることなど。
- 選挙管理委員及び同補充員の選挙 (選挙管理委員 小畑 敏雄 高品 齊 長谷川 佳壽子 増田 信之 選挙管理委員の補充員 石塚 一信 長谷川 義樹 水無瀬 攻 宮崎 猛志)

請願

- 皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。
- 審議が終わったもの **1件**
- 不採択としたもの **1件**
- (仮称)区立幼稚園のあり方に係る具体的方針(案)に対する陳情

- 賛否は、不採択とすることに対するもの。
- 新しく出されたもの **1件**
- 企画総務常任委員会に付託
- 婚姻歴のない母子家庭の母につ

- いつも税法上の「寡婦」とみなし、控除を適用し、窮状を救うため手を打つように求める陳情
- 福祉保健常任委員会に付託 **1件**
- 婚姻歴のない母子家庭の母についても税法上の「寡婦」とみなし、控除を適用し、窮状を救うため手を打つように求める陳情
- 都市整備常任委員会に付託 **1件**
- 住友不動産株式会社による「仮称」用賀1丁目計画」に関する陳情

委員の辞任

- 地方分権・地域行政制度対策等特別委員会 桜井 純子 (生ネ社)
- 議会運営委員会 石川 征男 (自民新)
- 環境・エネルギー問題対策特別委員会 桜井 純子 (生ネ社)

正副委員長の互選結果

- 災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会 委員長 桜井 稔 (共産) 副委員長 新川 勝二 (自民新)
- 環境・エネルギー問題対策特別委員会 委員長 桜井 純子 (生ネ社) 副委員長 津上 仁志 (公明)
- 予算特別委員会 委員長 高岡じゅん子 (生ネ社) 副委員長 新川 勝二 (自民新)



編集後記

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様をホームページでライブ中継するほか、区役所第1・第3庁舎、総合支所、市民活動支援コーナー(キャロットタワー3階)でも生中継します。また、ホームページではお好きな時間にご覧いただける録画配信も行っています。ぜひごらんください。

○区議会ホームページでは、議会中継に加え、本会議や委員会の会議録、区議会の仕組みや議員の紹介などをごらんいただけます。より見やすく使いやすいものとなるよう、4月からレイアウトなどを変更しましたので、ぜひご利用ください。

○区議会だよりのテーパー版とデジタル(CD-ROM)版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りいたしますので、ご希望の際は区議会事務局調査係までご連絡ください。また、区立図書館では過去1年以内に発行された区議会だよりのテーパー版とデジタル(CD-ROM)版を貸し出しておりますので、ぜひご利用ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL (0433) 2779
TEL (0433) 2779
FAX (0433) 30000

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は5月中旬、予算特別委員会の分は6月上旬の発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。

